

大橋運輸株式会社

従業員等の男女比率	男（78名）：女（21名）
従業員等の平均年齢	45歳
拠点	全社

【健康経営戦略マップ】

社会的価値

仕事を通じてお客様や地域に貢献し、官民連携協力の上で地域課題の解決を目指していく。

企業価値

社員一人ひとりが、心身ともに健康で生き生きと輝くことにより付加価値を生み出し、又、それを社会に提供、貢献できる人財となる。

作成年：2025年8月

健康投資



従業員の健康課題

- 従業員的生活習慣病リスクの改善→生活習慣の改善
- 長時間労働の改善
- 従業員のモチベーションの維持・向上
- 職場の心理的安全性の確保
- 多様性とチームワーク

健康投資の効果



健康経営の浸透状況

- 推進方針の理解度
- 健康施策満足度

方針実現のための体制・環境

- 担当者会議での議論
- 社員の参加

サポート、組織的支援（POS）、WSC等

- 社内専門職による支援体制
- ソーシャルキャピタル（人々の相互作用から生まれる信頼や協力）

健康風土の醸成

目標年：2030年

KGI	健康経営の目標	健康経営の推進方針	経営方針
社員の健康・安全・満足度だけでなく、地域との信頼関係や企業価値の向上につながることを目標とした 1.健康経営ブライト500認定継続→毎年 2.健康LINE登録→維持率95%以上 3.健康診断受診率（扶養配偶者含む）→100% 4.特定保健指導・保健指導・管理栄養士による食生活指導の個別指導実施率→100% 5.歯の8020運動を目標に60歳時24/28本以上→90%以上 6.肥満率（BMI25以上）→20%以下 7.禁煙率→80%以上 8.安全運転ドライバー比率→事故0 9.デジタルタグラフ安全評価改善率→100% 10.健康イベント参加率→80%/年平均 11.健康経営による求人応募者数→2025年比200% 12.離職率→年間10%未満に抑制 13.地域健康イベント開催数→100回以上継続 14.瀬戸市・瀬戸市社会福祉協議会・大橋運輸の三者協定の継続→官民連携協力の上下地域課題の解決	社員・家族・地域全体の健康寿命の延伸 1.社員・家族・地域・会社が共に健康でいられること 2.現役時代に良い健康習慣を身に付けること ・健康習慣の持続力を育てる ・生活習慣病の予防を徹底する ・健康習慣を家族の日常にも広げる 3.社員、地域の健康寿命を延ばす 4.健康意識を安全意識につなげる。 ・安全運転のドライバーを増やす 5.健康経営の取り組みの広報活動により企業価値、採用力の向上につなげる 6.社員同士のコミュニケーションの活性化 7.ES（従業員満足度）の向上 8.健康経営の成果を地域価値に変える ・CSV（共通価値の創造）経営の実践 9.官民連携による地域課題の解決 ・広がる健康経営、持続可能な企業を目指す ・連携プロジェクト5件/年以上	健康経営理念 「現役時代に良い健康習慣を身に付け、定年後も健康に暮らす」のもと、社員一人ひとりが長く元気に働ける環境づくりを進める 1.治療より予防 ・管理栄養士を社内に配置し日常生活の中で健康習慣づくりをアドバイス、指導食材の支給を通し実践環境をつくる ・産業医、歯科医との連携 2.社員の精神面の強化 ・「一人で頑張らない制度」等社員同士のコミュニケーションを図りながら心理的安全性を高め精神面の問題を解決できる環境づくりをする ・LINE等相談窓口の整備 3.ES（従業員満足度）向上に伴うCS（顧客満足度）向上 ・ESを高めることにより社員の会社に対する愛着や貢献意識であるエンゲージメントも高まりCSの向上につなげていく 4.社員から地域への広がり ・地域住民向け健康に関する講座、イベント等を開催することにより誰もが健康で安心して暮らせる地域・社会をつくる社会貢献の一助となる 5.地域医療機関との連携を強化する	1.企業理念 仕事を通じてお客様や地域に貢献する ・パーパス経営の導入→「私たちは地域課題に挑戦する」 2.人事理念 社員をはぐくみ付加価値を提供できる人財を蓄える ・「仕事の付加価値は人が作る」社員の成長を企業価値と捉える 3.ダイバーシティ ・多様な人材が活躍できる職場作り 4.地域密着型経営 ・下請け依存からの脱却 ・生前整理・遺品整理等地域の生活課題に寄り添ったサービスの提供 ・安ければよいと言うお付き合いではなく信頼関係の築ける顧客との取引を重視 5.地域包括ケア ・官民連携による地域包括ケア ・地域課題の解決に本気で貢献する